

無痛分娩同意書・申込書

- 1 計画的無痛分娩に先立って、予定していた日より早くに自然陣痛や破水などが始まった場合には無痛処置は行えません。
- 2 夜間の無痛処置は行えません。
- 3 予定通りの入院であっても他の分娩などによりスタッフの管理体制容量を超えると判断した場合は無痛分娩を施行できない場合もあります。

この上記3点は院内全体の安全を重視するためご了承願います。
この点をご理解いただけない場合は当初よりお断りさせていただきます。

- 4 麻酔はすべての痛みを完全になくすものではありません。辛い陣痛や下腹部痛、腰痛などを緩和することを目的としています。
- 5 硬膜外麻酔を行うことにより血圧が低下する恐れや、稀ではありますが麻酔の薬剤でアレルギーを起こしショック状態になる場合、刺入部位からの出血や感染、神経損傷を起こす危険性があります。
- 6 脊椎の変形や狭窄など身体の器質的な問題のため硬膜外麻酔ができない場合があります。
- 7 陣痛促進剤を使用しますが、別紙に承諾をいただきます。
- 8 母児の状態により緊急を要する場合、分娩進行を認めない場合には帝王切開となる場合があります。
また、吸引分娩などの医療的な介入が必要になる場合があります。
- 9 出産費用に加え、自費による負担が必要です。

記

わたしはこのたび、担当医師により無痛分娩についての説明を受け、偶発症などについても理解しましたので、無痛分娩を希望し、申し込みします。

20 年 月 日

患者氏名